

折に触れ 四字熟語

NO. 304 『中秋名月』 ちゅうしゅうのめいげつ

< 意味 > 陰暦八月十五日の夜の月のこと。

表 言 : 中秋の名月をめぐる

用 例 : 中秋の名月の夜、金堂の尊像に献灯がされ、三つの大きな窓のように見える堂内の灯りの中に、それぞれ薬師如来像、盧舎那仏像、千手観音菩薩像が額縁にはまったように浮かび上がっている情景を、一度拝したいものだと思っている。<瀬戸内寂聴・寂聴古寺巡礼>

語 釈 : 「中秋」は三か月を三つに分けた孟・仲・季の真ん中である陰暦八月の異称。「中」は「仲」とも書く。

一 言 : 今年の中秋の名月は9月17日でした。ベランダから見事な満月を見ることができました。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」